

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年6月6日

1. 活動テーマ

<テーマ>

3歳児…葉っぱに触れてみよう。どんな感触かな？

<テーマ設定理由>

・日頃園庭にある木の葉などを使っておままごとをしたり、葉に触れることも多くなった。その中で同じ木の葉でも大きさが違うことや、いろいろな形の葉があるということに気づいた子がいたことから、いろいろな葉っぱに触れる活動につながった。

2. 活動スケジュール

・16名参加する。
1グループ4名、2グループ4名 3グループ2名
4グループ3名 5グループ2名…15分ほど

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・紫陽花の葉や新鮮な葉、乾燥させた葉など。
- ・木のボード7枚
- ・テーブルシート1枚
- ・テーブル3台
- ・虫眼鏡4つ

<活動内容>

・興味のある葉を自由に選び、自分だけの空間で、触る、匂いを嗅ぐ、ちぎって体験する。
・葉の形が違うこと、感触(つるつる、ふわふわ、ちくちくなど)に気が付き、その気持ちを言葉で伝える。
・虫眼鏡で、葉の様子を見ているだけでなく、ちぎった場所や、色が変わっている所など覗き、どうなっているのか「見てみよう」と好奇心を持つ姿が見られた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



- ・落ち葉を見て「手みたい」と自分の手と比べたり大きい葉と並べ、大きさを比べる。
- ・自分で選んだ葉の匂いを1枚ずつ嗅ぎ「みかんのにおいがする」「葉っぱの匂いがする」と確認する。
- ・葉を触り「ちくちくしている」「ふわふわしている」「毛が生えている」と色々な葉の違いに気が付き「発見したこと」を嬉しそうに言葉で伝える。
- ・葉の形を「ハートみたい」「カメみたい」「めがね」とイメージしながらボードの上に並べてみる。
- ・虫眼鏡では気になっている箇所に顔を近づけて見たり、葉脈を見つけ「なんか線がある」と発見していた。
- ・葉をちぎっていると、筋(葉脈)が出てきて「なにこれー」と驚いていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・園庭や近所の公園などで紫陽花の花が咲き、葉が生生きしている様子を見て、季節の葉やいろいろな葉に興味を持つようになったことからこの活動につながった。
- ・葉には色々な種類、大きさ、新鮮な物、乾燥した物などあるので、自分で選べるように設定をすることで、子ども達はどのような物を選び、何に焦点を向けて観察するのか、私自身、楽しみながら子ども達を見ることが出来た。
- ・同じ種類の葉を好む子、ちぎる感触を楽しむ子、葉には毛が生えてることなど、気が付いた気持ちを言葉として聞くことが出来た。
- ・子ども達の視点は一人ひとり違うが、友達の言葉を聞いて自分も見よう、触ってみようという興味を持つ姿が見られたり「本当だ」と共感し合い、発見することもできた。
- ・少人数で落ち着いた雰囲気の中で活動することで、子ども達の小さな気づきや表情などから心の声を聞くことが出来た。その中で葉脈に気が付いた子もいたので、次回は電子黒板を使用して、拡大して見られるようしたりと葉の観察をじっくりとできるような活動に繋げ、子ども達の新たな発見を見つけていきたいと思う。